

頸動脈狭窄症外来のお知らせ



- ▶ 超高齢化社会となり脳梗塞患者さんが増えています。脳梗塞の重要な原因の一つに「頸動脈狭窄症」があり、適切な内科治療、外科治療で脳梗塞の予防が可能です。
- ▶ 頸動脈狭窄症外来では、脳内科で初診を受け付け脳神経外科と協力して総合的な評価を行い、正確な診断と最適な治療選択を行います。
- ▶ 危険因子の管理方針や治療薬を決定します。
- ▶ 頸動脈硬化症は全身の動脈硬化の重要な指標です。病歴や診察所見、心電図所見などから虚血性心疾患や閉塞性動脈硬化症などがみつかることがあります。

◇どんな患者さんを紹介したらいい？◇

- ☆ 健診で頸動脈プラークを指摘
- ☆ 頸部の血管雑音
- ☆ 頸動脈エコーで狭窄疑い
- ☆ MRAで狭窄疑い
- ☆ 狭窄程度は軽いが動脈硬化目立つ
- ☆ 脳梗塞既往あり頸動脈評価希望



【脳血管内科 部長】
古賀政利
外来日：水曜日



【副院長】
豊田一則
外来日：木曜日



【脳神経外科 医長】
佐藤 徹
外来日：水曜日



【脳神経外科 医師】
池堂 太一
外来日：木曜日

センターHP→病院→医療関係者の皆様へ→患者さんを紹介いただく手順について→
(Excelファイル)「頸動脈狭窄症外来 診療希望」とご記入のうえ、
専門医療連携室 (06-6170-1348)へFAXでご送信下さい。



国立循環器病研究センター
National Cerebral and Cardiovascular Center

〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町6-1
TEL: 06-6170-1361 (連携室直通)
FAX: 06-6170-1348